

避難警報が発令されたら

雨の降り方

雨の降り方の特徴を確認しましょう。

<p>やや強い雨 時間 10~20mm</p>		<p>ザーザーと降る雨。 地面からの跳ね返りで足元がぬれる程度の雨です。 長雨になりそうなら注意が必要です。</p>
<p>強い雨 時間 20~30mm</p>		<p>どしゃ降りの雨。 傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。 側溝があふれ、小河川ならはん濫、また、崖崩れの心配もあります。</p> <p>大雨・洪水注意報が発令される場合があります。</p>
<p>激しい雨 時間 30~50mm</p>		<p>バケツをひっくり返したような激しい雨。 山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。 道路が川のようになり、規制も行われます。</p> <p>大雨・洪水警報が発令される場合があります。</p>
<p>非常に激しい雨 時間 50~80mm</p>		<p>滝のような猛烈な雨。 土石流等が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがあり警戒が必要です。</p>
<p>猛烈な雨 時間 80mm</p>		<p>息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨。 雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。</p>

※災害の発生は、一時的な雨の強弱だけでなく総雨量など、総合的な気象状況によって影響を受けます。

浸水深の目安

地図面をご覧くださいになり、ご自宅の浸水の深さを確認しましょう。

